

# みどりの東北

MIDORI NO TOHOKU

Vol.  
**159**  
東北森林管理局

特集

仙台市民に親しまれる「八木山治山ガーデン」

「治山課」

## CONTENTS

### ■美しい森林づくり

国民参加の森林づくり支援について.....【岩手南部森林管理署】

### ■我が署の名所

ほどけがうら  
秘境「仏ヶ浦」.....【下北森林管理署】

焼石岳山頂より三界山を望む  
(提供: 置賜署 杉田氏)



特集

Special  
Feature  
Article

# 仙台市民に親しまれる 「八木山治山ガーデン」

治山課

【はつめい】

東北森林管理局では、山地災害の防止、

水源の涵養など森林の持つ  
公益的機能の  
確保が特に必  
要な保安林等  
において、治  
山施設の設置  
や機能の低下  
した森林の整  
備等を行う治  
山事業を実施  
しています。

一方、治山

事業は農山村地域で行われることが多く、  
国民の皆さんの目にとまることは少ないた  
め、残念ながら治山事業をイメージできる  
人も少ないと考えられます。

このような中で、治山事業の「見える化」  
に取り組み、地域住民に親しまれている現

場をご紹介します。

【仙台市の国有林】

宮城県仙台市は、  
東北で唯一の政令指  
定都市ですが、市街  
地にも国有林が存在  
しており、その多く  
をレクリエーションの森に設定し、仙台市  
民の憩いの場として利用されています。

このような中で、金剛沢国有林も市  
街地に位置しますが、地すべりが原因  
と見られる土砂流出が発生したことか  
ら、治山堰堤やトンネルなどを設け、  
安定化を図ることにしました。

【八木山治山ガーデンの誕生】

金剛沢国有林の近くには遊園地や動  
物園があり、仙台市民が訪れやすい場  
所です。また、隣接する鉤取山国有林は、  
モミの大木と落葉広葉樹の混交林であ



八木山治山ガーデン入口



排水トンネルの入口

り、この林況を保存するため植物群落保護  
林に設定していました。

さらに、金剛沢国有林では、溪間工事、  
山腹工事及び地すべり防止工事を行って  
おり、治山事業で実施する基本的な工事が全  
て含まれていました。

これらの状況を活かし、仙台市民に治山  
事業をPRできれば、その有効性・有用性  
が認識され、ひいては国有林への理解が一



ガーデン内の散策者





八木山治山ガーデンのパンフレット

見学会を開催し、トンネル内を案内したり、集水井の深さを見ていただいたりし、参加者からは「治山事業の重要性を感じる事ができた」との感想がありました。

近年、ナラ枯れなどが散見されることから、治山事業のPRに加え、利用者の安全確保に十分留意して管理していくこと



ガーデン内の休憩施設

層深まることを期待して、治山事業の「見える化」に取り組みこととしました。

具体的には、各工事箇所を遊歩道で結び、休憩施設として四阿を設け、木製の案内板を設置するとともに

に、併せて隣接する鉤取山とも遊歩道でつながることで植物や野鳥の観察も出来るようにしました。

こうして、金剛沢国有林と鉤取山国有林をエリアとする「八木山治山ガーデン」を平成23年に開設しました。

**【見学会の開催】**

普段は、仙台市民の散策の場として利用されていますが、地下水を排除して地すべりを防止する集水井や排水トンネルは、安全確保の観点から立ち入りを制限しています。しかし、要望があれば、仙台署職員の同行のもと公開しており、先般もNPOが



排水トンネル内の見学



見学会の様子

も大切と考えています。

# 美しい森林づくり

## 国民参加の森林づくり支援について 「DCM ホームマックの森」社会貢献の森 (奥州市胆沢区字東前川山国有林)

岩手南部森林管理署

5月26日、奥州市胆沢区東前川山国有林51林班内において、「DCM ホームマックの森」育樹会が開催されました。

この箇所は、胆沢ダム建設のための土砂を採取した跡地で風が強く、冬は雪が吹きだまり、木の成長にとっては厳しい環境の場所です。

DCM ホームマック社は、各地で森に戻す取り組みを実施しており、協定の締結による国民参加の森林づくり制度を利用し、社会貢献の森として当署と協定を締結、平成25年度から紙製の六角形苗ポットを作製し、地域の幼稚園児を迎え植栽を実施してきました。

5年目を迎える今回は、協定区域内の植栽も終わり、植栽したヤマハンノキ、コナラ、ケヤキ等の広葉樹の周りの草刈を手作業で行うとともに、



刈払の様子



記念撮影



奥州地方森林組合による  
刈払い機の講習

今まで植栽した各樹種の生存数の調査をしました。

花巻市、北上市、奥州市から集まった社員17名は、中腰での慣れない作業で、腰をさすりながらも一心に手鎌で草を刈

りとる姿には敬服させられました。

協定は今年度が期限となっていますが、同社では引き続き森に戻す活動を実施したいとの意向から今後も協定を更新、継続する予定となっています。

また、このほか当署管内には、「木の文化を支える森」として「東北電労歴史の森」や「平泉古事の森」、「多様な活動の森」として「水沢鉱山(みんちゃやま) 古道ふれあいの森」、遊々の森の「ハバラ谷地遊々の森」、「星めぐりの森」、「和賀三山月山きらめきの森」など、地域の方々や企業等が参加した協定の森があり、今後も地域の皆様からの要請を踏まえ、必要なフィールドの提供、活動の支援等国民参加の森林づくりに取り組んでいくこととしています。

### 他の協定での様子



木の香りや葉の種類を学習





# 各地からの たよりの

## アサヒ森林体験 活動in仁別 技術普及課

5月20日(土)、秋田市の「仁別国民の森」において、アサヒビル株式会社秋田支社、仁別森林博物館ボランティア案内会、太平山観光開発株式会社並びに東北森林管理局及び秋田森林管理署の参加者38名により、今回で14回目となる「アサヒ森林体験活動in仁別(森林環境整備活動)」を行いました。

東北森林管理局では、アサヒビル株式会社秋田支社及び、仁別森林博物館ボランティア案内会と「仁別森林博物館及び仁別国民の森等を活用した体験型森林環境教育等の実施に関する協定」(三者協定)を締結し、毎年、仁別森林博物館周辺で活動を行っています。これは、アサヒビル株式会社秋田支社の社員や家族の皆さんが、森林環境整備活動をおして森林と人々の生活環境との関係について理解と関心を深めるために行っているものです。

また、太平山観光開発株式会社とは「仁別国民の森」を活用した自然とのふれあい企画等実施に関する「協定書」を締結しており、三者協定活動にも協力して頂いています。

この時期としては気温が上がり暑い日となりましたが、新緑が美しい仁別の森林に囲まれながら、冬季の積雪や風雨にさらされ傷んでしまった仁別森林博物館のトイレ施設、木製看板や柵柱にペンキを塗り直したり、散策路の雑草の刈り払いを行ったりと、参加者は心地よい汗を流していました。

この活動で、10年ぶりにペンキを塗り直したトイレ施設や看板等は外観などが生まれ変わったようにきれいになりました。



トイレ、看板のペンキ塗り

境を整えることができました。

参加者から「ペンキを塗ったら見違えるようにきれいになった、定期的にやっていきたい。」「子供たちと一緒に活動が行えて良い経験となりました。」等の感想が寄せられ、この体験を通じて森林や樹木に少しでも興味を持って頂けたのではないかと思います。

昼食後、仁別森林博物館ボランティア案内会での、爽やかな青空の下、この季節ならではの植物などの説明を受けながら自然観察を行いました。日常では感じることができない自然を堪能しました。

また、散策路も歩きやすくなり、仁別森林博物館や国民の森を訪れる地域の皆様がよく過ごせることができる環境を整えることができました。



散策路の草刈り



柵柱のペンキ塗り

### 第39回 「森林の市」を開催

技術普及課

「森林の市inAKITA実行委員会」の主催(東北森林管理局が共催)により、5月27日(土)に第39回「森林の市」を東北森林管理局構内で開催しました。

「森林の市」は、市民の皆様へ森林・林業や国有林野事業への理解を深めていただくとともに、山菜や木工品等の販売を通じて、山の恵みに触れていた



自然観察の様子

能し、充実した一日を過ごすことができました。

当日は、天候にも恵まれ気持ちよく活動を行うことができ、今後も三者で協力して活動を行っていくことを確認して無事に終了することができました。

この機会にぜひ「仁別森林博物館」や「国民の森」を訪れてみませんか。

だくことを目的に、1985年（昭和60年）から毎年開催しています。当日は朝から雨が降り続いていますが、開会式の前には雨も上がり、傘が不要な天候の中での開催となり、700名近い方に来場頂きました。



テープカットにはスギッチ、森っちゃんが登場

開会式では、来場いただいた親子一組、実行委員長、東北森林

管理局長によるテープカットに続き、イロハモミジの苗木のプレゼントを行いました。早朝から並んだ方も多数いらした事から、準備した200本の苗木は程なく品切れとなりました。今回の「森林の市」は、局駐車場にテント19基を設置して山菜、木工品等の山の恵みや山からの産物を販売する「販売コーナー」、庁舎2階で木工クラフト等を楽しんで頂く「体験コーナー」



イロハモミジの苗木配布

を催しの目玉として開催しました。「販売コーナー」には、林業事業者、製材業者、森林組合連合会などの17団体から出展があり、各団体が持ち寄った自慢のアイコ、ウド、ゼンマイ等の旬の山菜や山野草、そして青森ヒバのまな板や秋田スギの木工品、木酢液などを多くの方が購入されていました。また、昼食の時間帯は山菜汁の販売コーナーが賑わいました。



旬の山菜の販売

「体験コーナー」では、東北森林管理局や仁別森林博物館ボランティア案内会などが出展し、様々な木の実や葉っぱを使った木工クラフト、秋田スギを使用した積み木コーナー、森林学習コーナーなど、幅広い年齢層の方が楽しめるようメニューを凝らして実施したところ、



航空写真の実体視

様々な年代の方が真剣にクラフト製作などに取り組んでいました。また、白神山地森林生態系保護地域等の見所紹介と生息



木工クラフト

する鳥獣の写真展では、多くの方から野鳥のアカシヨウビオンなどの生態に関する質問を受けました。会場内では、緑の募金活動も行われ、多くの方に募金に協力いただきました。この募金は秋田県内の緑化活動に有効に活用されます。募金に協力いただいた来場者の皆様にあらかじめ感謝申し上げます。

これからも多くの方に来場いただくような「森林の市」にするために、市民の皆様楽しんで頂けるメニューを用意して、皆様のご来場をお待ちしております。



秋田スギの積み木による大作

## 田山小学校5年生が 森林の働き等について 学習しました

### 岩手北部森林管理署

岩手北部森林管理署では、毎年、小学校の児童に森林学習を行っています。今年も、複数の地元小学校より森林学習への協力依頼があり、職員が小学校に向いて講義等を行うこととしています。

5月10日（水）に行った八幡平市立田山小学校での森林学習では、5年生の児童10人が、森林管理署の仕事内容や森林の働きについて学習しました。田山小学校の校庭からも山の景色がよく見えますが、その中に国有林もあることを知っている児童は少なく、地元にも多くの国有林があることを説明すると、みんな意外そうな表情をしていました。また、森林の働きについて、二酸化炭素を吸収することで地球温暖化防止に貢献することや、土砂災害を防ぐこと、木材として使用されることなど、多くの働きがあることを熱心に学んでいました。木材の使い道にはどんなものがあるか答えてもらったところ、机、鉛筆、家、薪などが様々な回答が出ました。さらに、伐倒作



教室での学習の様子



業の様子について写真を見せたところ「ハーベストだ！」と発言してくれた児童もいるなど、さすが林業が盛んな地域だと実感しました。

翌週の17日(水)には、田山小学校



元気良く観察スタート



樹木の名前や特徴をメモ

た。その後、校庭の外に場所を移し、近くの断層で地層の勉強をしたほか、治山ダムの見学を行いました。最後は再び学校に戻り、森林の働きの一つである「土砂災害の防止」について実験を行いました。植物の生えた土と生えていない土を箱に入れ、じょうろで水をかけると、植物が生えている土は土

砂があまり流れませんが、何も生えていない土ですぐに土砂が流れてしまいました。樹木や植物が根を張ることで土砂が流れにくくなることを実感した実験でした。

今後、様々な内容の森林学習を予定しています。児童の皆さんには、楽しみながら少しでも森林の働きや樹木の名前について学んでもらえたらと思います。



「土砂災害の防止」実験

## 高校生による林業体験

### 由利森林管理署

由利森林管理署は、平成22年から森林環境教育の一環として、水林海岸林(国有林)において秋田県立矢島高校1年生による林業体験学習に取り組んでいます。

この体験学習は、高校における総合的な学習の一環として「地域の自然に触れ合うことにより自然の豊かさを実感し、地域に対する理解を深め、さらに環境問題を考える」というテーマで、

毎年春と秋に学校側の要請にこたえ実施しているものです。

学習フィールドとなるクロマツ林は、飛砂や強風から市民の生活を守り安全で快適な暮らしを提供する役割を果たしてきましたが、昭和58年以降の松くい虫被害及び平成10年の豪雪により甚大な被害を受け、その効果が減少しました。そのため、治山事業及び市民ボランティアによる植栽・保育を実施し海岸林を再生してきました。

また、天然更新した天然クロマツは、過密な状態で成育し試験的に本数調整伐を実施しており、この海岸林再生作業の一部を高校生が担うとともに、環境への関心を深めながら地域へ貢献してもらうことをねらいとして、5月22日(月)に生徒34人によりクロマツ林の本数調整伐を行いました。

最初に、由利森林管理署長より海岸林の目的や「山の日」等について挨拶があり、その後、当署職員により、クロマツ林の整備方法の説明とノコギリの使い方を実演してから作業を開始し



本数調整伐作業の説明を聞く生徒



慣れないノコギリ作業



搬出したクロマツ

ました。生徒達は悪戦苦闘しながら、林の中に分け入りクロマツの根元近くを握り地際から伐っていきま

など林業体験の感想が話されました。この林業体験は、新聞に掲載され、当署における海岸林再生と森林環境教育がPRされました。

最後に生徒から「今日の体験は初めてであり大変な作業だったが木を伐ることが出来た。」





## 秋田駒ヶ岳のお花畑

エゾツツジ、アオノツガザクラ、サラサドウダン、ムシトリスミレ、ヒナザクラ、ミヤマダイコンソウ

盛岡森林管理署 森林技術指導官 松尾 亨

6月は東北各地の夏山シーズンの幕開けで、これからが高山植物を楽しめる時期です。北東北は梅雨入り前半の雨量が少ないので、6月後半からがお花見のチャンス。今回は秋田・岩手の県境にそびえる駒ヶ岳の花畑を紹介します。

エゾツツジは岩場や礫地で見られピンクの花弁が鮮やかで上弁に斑点があります。岩手山や早池峰など本州では限られた分布です。

アオノツガザクラは、針葉で常緑の葉に薄い黄緑の壺状の花を付けます。由来は花が緑で、葉を柵つがに、花を桜さくらに見立てたことからです。

サラサドウダンは、釣り鐘状の薄いピンクの花に紅色の線が入ります。由来は花の文様さらさらを見立てたことから。

ムシトリスミレは雪田付近や湿った岩場で

見られ、粘着質の葉から消化粘液を出す食虫植物です。花は紫で5裂しスミレに似ていますが生態も違うタヌキモ科でスミレの仲間ではありません。

ヒナザクラは雪田や湿地で見られるサクソウ科の植物で、花は白く5弁に分かれさらに浅く2列し東北地方に多く分布します。

ミヤマダイコンソウは大振りで切れ込みのある葉と、2cm程の黄色の花が特徴で岩場や礫地でみられます。バラ科でアブラナ科の大根とは無関係ですが、根生葉が大根に似ていることから漢字で深山大根草。

山はいつも好天気的笑顔で迎えてくれるわけではありませんが、谷間にそよぐ風やお花畑の原色を楽しみに「今日の幸運」に感謝し望みましょう。下山後の筋肉と胃袋へのアフタケアも大切に楽しみたいですね♡



エゾツツジ



アオノツガザクラ



サラサドウダン



ムシトリスミレ



ヒナザクラ



ミヤマダイコンソウ





# 森林官からの手紙



## 初心にかえり「今私に出来ることは、」

秋田森林管理署 森林官(卒田・角館担当区) 藤原 智子

4月よりお世話になっております。角館森林事務所は、秋田市から秋田新幹線で43分、車利用では、国道13号線、国道46号線経由で1時間ほどの秋田県仙北市角館町にあります。

県内の桜の名所のひとつでもある桜の美しい町として、みちのくの小京都と言われる角館は、県内外から多くの観光客で賑わいます。角館の桜といえば武家屋敷通りのしだれ桜が特に有名で、黒塀を背景にしてふりそそぐような薄紅色の花が実に艶やかで美しいです。角館のしだれ桜は、今から350年前、京都から迎えたお姫さまの嫁入り道具にありました3本の苗木が元となり、長い年月町の人々により大切にされ、現在では約450本、うち162本は、国天然記念物指定だといわれております。武家屋敷通りから少し西に行くと、松木内川がゆつたりとカーブを描きながら流れ、堤には全長2キロにも渡ってソメイヨシノが咲き



武家屋敷通りのしだれ桜

最後に、事務所から車で23分ほどで行ける刺巻(ミズバショウの群生地)があります。さくらの時期と同じくして素晴らしい景観となっております。観と多くの人を訪れています。まだ



刺巻(ミズバショウの群生地)



田沢湖畔のたつ子姫の像

誇ります。松木内川堤の桜は現在では国の名勝指定を受けており、満開時には辺りを包み込むように花を咲かせ、観光客も地元の人たちも麗らかな光の中でひと時を過ごす憩いの場となっております。また、管内には、事務所から車で35分ほどの所に田沢湖があります。田沢湖畔には、たつ子姫の像があり、田沢湖から望む管内の山々を眺めることができます。

また、管内には、事務所から車で35分ほどの所に田沢湖があります。田沢湖畔には、たつ子姫の像があり、田沢湖から望む管内の山々を眺めることができます。

まだ、多くの名所がたくさんありますが、私が着任して感動した風景を3つ紹介してみたい。観光施設に隣接する国有林においては、特に安全や景観に配慮して管理するように心掛けようと思っております。

さて、森林官としての主な業務としては、境界管理、林野巡視、請負事業の監督等を行っております。現在も多くの家々で薪を使用しており、薪炭共用林野の調査も業務の一つとなっております。

また、各事業を執行するうえで基盤となる林道については、雪解けの林道点検から始まり、請負で実施する建設機械のチャーター及び林道除草など、管内の林道状況を把握した上で、署に報告する等を行っております。

森林官業務は、約十一年ぶりで慣れない業務に苦戦しているうちにあっという間に2ヶ月が経過してしまいました。その業務の間に先ほど紹介したような風景や自然に接し、鳥の鳴き声、葉の擦れる音、きれいな空気など美しいと感じることができ、心も体も喜んでいく気がします。この美しい自然に感謝しながら角館・卒田の担当区面積、約一万四千haの国有林を管理するために署内の方々や、近隣の森林事務所の森林官からのご指導とご協力をいただきながら、地域との関わりや地元の人たちとの連携を強化し、今、自分にできることを模索しつつ、微力ながら業務に臨んでいきたいと思っております。





駐車帯(展望デッキ)から見た仏ヶ浦

# 我が署の名所

秘境「仏ヶ浦」  
ほとけがうら

青森県下北郡佐井村

本州最北に位置するマサカリの形をした下北半島には、全国的にも知られている「恐山」や「仏ヶ浦」など、数多くの景勝地があります。

こうした下北の資源を守りつつ、学習の場や観光資源として活用することを目的に、昨年9月、『海と生きる「まさかり」の大地』本州最北の地に守り継がれる文化と信仰』をテーマとして日本ジオパークに認定されました。

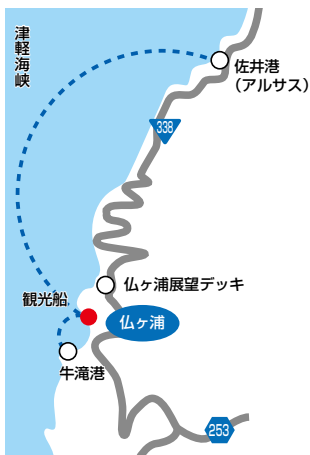
「仏ヶ浦」はこのジオサイトの一つで、半島の西海岸のちょうどマサカリの刃の中心部にあたります。

数百万年に渡る長い期間の風雨と潮流の浸食により形成された南北約2kmの緑色凝灰岩の連なる奇岩は、国指定の名勝および天然記念物に指定されているほか、下北半島国定公園の一部にもなっています。

この中にある様々な形をした岩には、「如来の首」や「蓬莱山」など、仏教や霊界を連想させる名前が付けられており、高さ100mに近い仏像のように削られた岩々が周辺にあるブナやヒバなどの森林と相まって、独特の空間を形づくっています。

仏ヶ浦の楽しみ方は、①仏ヶ浦駐車帯(展望デッキ)から気軽に遠景を楽しむ ②仏ヶ浦駐車場から標高差約100mの遊歩道を散策して楽しむ(健脚向き) ③佐井港(アルサス)や牛滝港から観光船を使って海からの景観を楽しむなどの方法があります。

これからの季節は、旬のウニや温泉、他のジオサイトなど自然豊かな下北半島を存分に楽しむことができます。



### ◎交通アクセス

佐井村観光協会(アルサス)から  
仏ヶ浦駐車場まで車で約50分



仏ヶ浦散策

